

- 1 単元名 日本の諸地域「北海道地方」
- 2 単元の目標と観点別評価規準

自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを産業や人々の生活などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考え、地域的特色を捉えることができる。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
北海道地方の自然環境や産業、人々の生活に関する地理的事象に関心をもち、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	北海道地方の地域的特色を捉えるために、自然環境に関する地理的事象と産業や人々の生活に関する地理的事象の関連を考察し、表現している。	北海道地方の地域的特色に関する地図や統計、景観写真などの資料から読み取ったことを基に、主題図やカードを作成している。	北海道地方について、自然環境と産業や人々の生活を関連付けて考察したことを基に、地域的特色を理解している。

- 3 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の「ウ『日本の諸地域』(ア) 自然環境を中核とした考察」における動態地誌的な学習を受けて設定されたものである。この単元は、「自然の特色」「産業の特色」などの項目を羅列的、並列的に取り上げるのではなく、それぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を中核として、他の事象と有機的に関連付けて追究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色を総合的に捉えさせることを主なねらいとしている。

本研究では、北海道は広大な平野や冷涼な気候の影響を大きく受けて、産業や人々の生活が展開されていることを踏まえ、地形や気候などの自然環境を中核として、産業や人々の生活などを関連付けていく。

(2) 生徒の実態

本学級(第〇学年〇組35人)の生徒の本主題に関わる実態調査では、「アメリカの特色について文でまとめなさい。」の質問に対して、自然環境の特色と産業や人々の生活を関連付けて答えられた生徒は5人であった。また、その他の生徒は関連付けができずに、羅列的に地理的事象を記述していた。このことから、多くの生徒が地理的事象を関連付けて、地域的特色を捉えることができていることが分かった。これまでの実践を振り返ると、地域的特色を調べる学習において、生徒は教科書の文章を抜き書きしてまとめることが多く見られた。これでは、地理的な見方や考え方の基礎を養うことは難しいと考える。資料から必要な内容を読み取ったり、事象間の関連を考察したりしながら、地域的特色を捉える学習活動が不十分であることがわかった。

(3) 指導観

北海道地方は、距離的に遠い地方であるが、本学級の生徒は小学校6年生のときに、研修旅行で行ったことがある。そこで、導入の場面では、北海道のイメージを出し合ったり、自分達の生活との関わりから学習を始め、生徒の意欲を高めたい。また、北海道の自然環境や産業、人々の生活に関する地理的事象を見だし、さらに、産業や人々の生活に関する地理的事象の背景や要因を自然環境に関する地理的事象と関連付けていく活動を充実させたい。具体的な手立てとして、地理的事象の背景や要因により明確に迫るために、「なぜ、そのような地理的事象がみられるのか」という学習課題を設定する。また、事象間の関連を明確にするために、カードを操作する活動を取り入れる。自然環境に関する地理的事象を中核として、産業や人々の生活に関する地理的事象のカード動かしたり結び付けたりして整理していく中で、生徒は地域的特色を総合的に捉えることができると考える。そして、これらの学習を通して、事象間の関連を考察しながら、地理的な見方や考え方の基礎をはぐくんでいきたい。

#### 4 単元の指導計画（6時間扱い）

時	学習活動及び内容	指導上の留意点と評価（評価は◎）
見 だ す	1 北海道地方について知っていることを出し合う。 2 北海道地方の自然環境の特色を見だし、主題図を作成する。 3 単元の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">北海道地方は、どのような特色がみられる地域なのでしょう。</div> 4 単元の学習計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校6年生の「北海道研修旅行」を思い出し、北海道地方のイメージを出し合うことで関心を高める。既習事項である日本の地形や気候に関する資料を活用することで自然環境の特色を見いだす。</li> <li>提示した地図や景観写真などの資料を基にして簡単な主題図を作成することで、空間的な広がりの中で自然環境の特色を見いだせるようにする。</li> <li>主題図作りを通して、地形や気候など、自然環境について大まかに見いだせるようにする。</li> <li>◎北海道地方の自然環境の特色に関心をもって追究しようとしている。（関心・意欲・態度）〈主題図〉</li> </ul>
	1 スーパーのちらしを基にして、産業に関する地理的事象を見だし、カードに書き込む。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">北海道地方では、どのような産業や人々の生活がみられるのでしょうか。</div> 3 地図や景観写真等の資料から、産業や人々の生活に関する地理的事象を黄色のカードに書き込む。 4 本時の活動を振り返り、次時からの追究活動への意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>その後の追究活動への意欲を高め、北海道地方の産業について自分達の生活との関わりから考えるために、ちらしから北海道産の商品を選んでカードに書き込み、導入とする。</li> <li>産業や人々の生活に関する資料を載せた「配付資料」を活用することで、地理的事象を見だし、カードに書き込んでいく。</li> <li>カードには、地理的事象を言葉や短い文で書き込み、根拠となる資料を明確にさせる。</li> <li>「なぜ、そのようなことがみられるのだろうか」と問うことで、課題意識と追究意欲を高める。</li> <li>◎資料を基に、産業や人々の生活に関する地理的事象を見だしてカードを作成している。（資料活用の技能）〈カード〉</li> </ul>
関 連 付 け る	1 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">なぜ、北海道地方では、そのような産業や人々の生活がみられるのだろうか。</div> 2 産業や人々の生活に関する地理的事象の背景や要因を追究し、緑のカードに記入し、黄色のカードと結び付ける。 カードを操作する活動 3 結び付けたカードを基に、事象を関連付けた考察文を書く。 4 考察文を確認し、現段階での地域的特色をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連付けができない生徒には、「黄色のカードに書き込んだことが、なぜ北海道で成り立っているのか。その理由を自作した主題図を基にして考えよう。」と助言する。</li> <li>前時に作成したカードを並べ、自作の「主題図」や「配付資料」を基にして、それぞれの地理的事象が成り立っている背景や要因を考えていくことで、事象と事象を関連付けていく。</li> <li>考察文が書けない生徒には、「○○な自然環境を利用（克服）して、△△な産業や生活がみられる。」という書き方を助言する。</li> <li>自然災害に関する事象について取り上げ、防災対策が大切であることについても考えさせていく。</li> <li>考察文を再度確認することで、自分で見いだした事象だけでは、北海道の地域的特色は捉えきれないことに気付かせ、次時の学習へ生徒の意欲をつなげる。</li> <li>◎背景や要因に着目し、見いだした事象と事象を関連付けて、表現している。（思考・判断・表現）〈カード〉</li> </ul>
	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">北海道地方は、どのような特色をもった地域といえるのでしょうか。カードを操作しながら考えよう。</div> 2 グループでカードを操作しながら整理する。 3 グループで操作したカードを基にして、クラス全体で一つに整理していく。 4 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に各自が書いた文を読むことで、北海道地方の地域的特色を捉えるためには、地理的事象をさらに出し合い、整理していく必要があることを意識付ける。</li> <li>グループ内で、話し合いながらカードを整理する。その後、各グループごとに、黒板に貼っていき、関連付けていく。考察の過程で新たな事象に気付いた場合は、カードを追加していく。</li> <li>カードを生徒の思考の流れに沿って操作することを通して事象間の関連を整理しながら考察していく。中核となる自然環境である「冷涼な気候」、「広大な平野」、「海に囲まれていること」などを中心に整理していく。</li> <li>◎カードを操作し、整理することを通して、自然環境に関する地理的事象と産業や人々の生活に関する地理的事象の関連を考察している。（思考・判断・表現）〈カード〉</li> </ul>
捉 え る	1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">北海道地方は、どのような特色をもった地域といえるのでしょうか。カードを基に文でまとめてみよう。</div> 2 関連付けたカードを見直し、自然環境を中核としてグループ化する。 <p style="text-align: center;">自然環境：広大な土地と冷涼な気候 周囲が海に囲まれているなど</p> 3 グループ化した地理的事象を基に、北海道の地域的特色を文にまとめる。 4 本単元の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返り、単元を貫く学習課題の解決への意識付けを図った上で、本時の学習課題をつかむ。</li> <li>整理したカードを、事象間の関連に着目し、中核となる自然環境である「冷涼な気候」、「広大な平野」、「周囲が海」などを中心にグループ化していく。</li> <li>各グループごとに、ある程度まとめていくことにより、地域的特色を総合的に捉えることにつながっていくように助言する。</li> <li>「何を中心にカードが整理されているのか」を考えていくことで、自然環境が中核となって地域的特色が形成されていることに気付いていけるようにする。</li> <li>文章化ができない生徒には、第4時の考察文の書き方を参考にし、緑色と黄色のカードのつながりを記述していくように助言する。</li> <li>◎北海道地方の地域的特色を、自然環境に関する地理的事象と産業や人々の生活に関する地理的事象との関連から考察し、表現している。（思考・判断・表現）〈特色文〉</li> <li>◎自然環境に関する地理的事象を中核として北海道地方の地域的特色を、総合的に理解している。（知識・理解）〈特色文〉</li> </ul>

